

指定管理者による公の施設の管理運営状況（令和6年度分）

施設名	茨城県立中央青年の家
施設所管課	生涯学習課
指定管理者	（特非）日本スポーツ振興協会
指定期間	R6.4.1～R11.3.31（5年間）

1 施設の概要

施設所在地	土浦市永井 987
施設の概要	敷地面積 77,387.265 m ² 本館（RC3 階）2,447.87 m ² 、研修館 448.00 m ² 、研修分館 111.80 m ² 体育館 986.23 m ² その他の主な施設等 野外炊飯場 オリエンテーリングコース ウォークラリーコース 野外キャンプ場 宿泊定員 200 名
業務内容	共同生活訓練及び各種の研修等を行い、心身共に健全な青少年の育成を推進する。 ・施設の利用等に関する業務 ・青少年教育・研修事業の実施 ・施設設備の維持管理に関する業務 ・その他上記に付帯する業務

2 職員の状況

常勤職員：12人	非常勤職員：10人	合計：22人
----------	-----------	--------

3 収支状況

令和6年度 (単位：円)

収 入		支 出	
指定管理料	114,946,711	人件費（給与等）	79,998,711
利用料収入	4,469,580	事業費	21,638,476
指定事業等収入	543,700	管理費	31,510,777
その他（食堂等）	25,779,947	その他（租税公課等）	10,278,261
収入合計	145,739,938	支出合計	143,426,225

4 利用状況

	令和6年度実績	令和5年度実績	令和4年度実績
①年間利用日数(日)	251 日	243 日	238 日
②年間利用者数(人)	32,870 人	25,404 人	19,916 人
③利用料収入(円) (指定管理者収受額)	4,469,580 円	3,455,460 円	2,081,340 円

5 サービス向上に向けた取組み

- ・白浜少年自然の家を利用された団体が当施設をはじめて利用されるケースも多く、学校・団体毎に個別打合せや下見、計画作成の支援等手厚く対応を行った。
- ・館内BGMのサービスを提供し、音楽による心地良い生活環境を提供している。
- ・「IBARAKI FREE Wi-Fi」を設置し、Wi-Fi環境の整備による研修活動の充実を図っている。
- ・公式SNSを立ち上げ、効果的な情報配信に努めている。
- ・遠方から電車でお越しになる団体の最寄駅までの送迎など、移動手段でお困りの団体の要望に応じ、マイクロバス送迎サービスを行っている。

6 利用者満足度調査の結果及び対応状況

○実施方法

- ・通年：退所時に利用者に対してアンケートを実施（回答 243 件）

○調査結果

①開館日・開館時間

大いに満足 63.0%、満足 30.7%、ふつう 6.3%、不満 0.0%、大いに不満 0.0%

②職員・スタッフの応対

大いに満足 70.1%、満足 23.7%、ふつう 3.7%、不満 2.5%、大いに不満 0.0%

③施設の清潔さ

大いに満足 49.3%、満足 35.2%、ふつう 14.2%、不満 1.2%、大いに不満 0.1%

④プログラムの内容

大いに満足 56.2%、満足 30.8%、ふつう 11.5%、不満 1.5%、大いに不満 0.0%

⑤施設全体

大いに満足 54.3%、満足 35.8%、ふつう 9.3%、不満 0.6%、大いに不満 0.0%

○利用者からの意見等

【良い点】

- ・職員の方々が児童や教職員のニーズに細やかに対応していただいた。非常にありがたかった。
- ・入所式からとても丁寧に対応していただき心より感謝しております。子供たちからは“今日も泊まりたい”という声が聞こえてきました。充実した2日間を送ることができ、子供たちは満足だったことと思います。
- ・お忙しい中、ありがとうございました。子どもたちにとって学校で座って行うものより、数十倍勉強になったと思います。体験に勝るものはないと思いました。
- ・アレルギー対応や配慮児童の対応等、数多くのお願いに対応して頂き、大変ありがたかったです。
- ・清掃がいきとどいており、気持ちよく過ごすことができました。ありがとうございました。

【悪い点】

- ・エアコンの効きが悪い。

【要望】

- ・アレルギーの子も含め、野外炊飯で同じカレー作りたい。
- ・配慮が必要な子の対応ができるような個別の風呂があると助かります。
- ・野外トイレが改修されると良い。

○対応状況

- ・エアコンについて、故障した機器は直ちに修繕を行った。また、エアコンフィルターの清掃は、繁忙期（エアコン使用が多い時期）に月2回行った。さらに、宿泊室全てのエアコンの内部洗浄を実施する整備を行った。
- ・成分を確認のうえ、アレルギー対応のカレールーに変更したり、宗教上の理由で豚肉が食べられないケースでは、通常提供している豚肉を「鶏肉」に変更するなど、都度学校や団体と協議し、できる限りの対応を行った。

7 管理運営状況の評価

評価項目	事業計画 (管理指標)	実績 (管理指標に対するコメント)	自己 評価	所管課 評価
維持管理	設備保守点検は、事業計画等に照らし適切か。	保守点検専門業者に業務を委託し、適切に管理した。	B	B
	整理整頓・清掃が行き届いているか。 (建物・植栽等)	施設の良好な衛生環境、美観維持への取組み、利用者へ快適な空間の提供に努めている。	B	B
	破損箇所の修繕は適切か。	協定書に基づき適切に修繕し、施設を安全かつ安心して利用いただけるよう、利用者への良質な環境の提供、安全管理に努めている。	B	B
施設運営	使用日数、使用時間等は守られているか。	関係条例等を遵守し、適正な運営を行っている。	B	B
	予約・利用許可等、利用者への対応は平等・公正に行われているか。	予約・利用許可等については、定期・随時利用申込みの各手順において、平等・公正に行った。	B	B
	創意工夫により、魅力ある自主事業の実施等、施設の利用拡大やサービスの向上が図られているか、	不登校児とその保護者を対象とした「親子キャンプ」を新たに実施するなど、地域課題にも積極的に取り組む事業を実施した。	B	B
	利用者の要望を把握し、運営に反映させ、満足度を高めているか。	利用者アンケートを業務改善に役立て、施設設備の改善を積極的に行った。また、全ての事業でアンケートを実施し、利用者の要望等を把握し、分析・評価・考察を行っている。	B	B
運営体制	職員は適切に配置されているか。	教諭免許保有者（元中学校校長、高等学校校長他）、1級建築士、健康運動指導士、障がい者スポーツ指導員、危険物取扱（乙4）、ボイラー取扱者、マイクロバス運転免許等、有資格者の適切な人員配置をした。	A	A
	要望、苦情等への対応は迅速かつ適切か。県へ報告しているか。	要望や苦情等への初期対応に注力し、迅速かつ適切に対応するとともに、二次クレームに発展しないよう心がけている。また、県への報告も適切に行っている。	B	B
	事故・災害等、緊急時に備えた体制は確保されているか。	危機管理マニュアルを整備するとともに、消防訓練の実施及び職員研修、職員による日常点検の徹底、避難誘導體制の整備を行い緊急時の対応に万全を期している。	B	B
	県、その他関係機関との連携は取れているか。	茨城県教育研修センター（講師派遣依頼）、県南各市町村教育委員会（事業広報等）など関係機関との連携・調整をした。また、地元J Aなどと連携し、事業を展開した。	B	B

利用状況	利用者数の状況は、計画を達成できているか。	計画目標値 34,800 人に対して、実績 32,870 人で約 5%1,930 人及ばなかった。	C	B
	施設の稼働率は、事業計画に照らして適当な水準にあるか。	稼働率は前年度 81.0%から、今年度 82.8%に改善した。冬期 12～2 月の稼働率が 50%程度で改善の余地がある。	C	B
収支状況	収支計画が適正に執行されているか。	施設利用料金および事業収入に大きな影響を受けたが、執行計画に基づき、適正に執行している。	B	B
	経費削減に向けた取組みがされているか。	必要な経費は、適切に支出し、経費削減に努めた。部品交換など自前に対応できる修繕は、専門職員が行い、経費を削減しながら適切に修繕を行っている。	B	B
【総合評価】・・・各評価項目及び施設の性格・特殊性を考慮した総合的な評価 利用者アンケートを通して要望等を把握し、業務改善に役立てている。施設設備の破損・修繕等には即時に対応するなど、利用者が安心・安全に利用できるよう努めている。「オールイングリッシュでの一般利用受入」や「不登校児とその保護者対象の親子キャンプ」など時代のニーズに合わせた対応にも取り組み、公式 SNS で情報発信を行うなど、利用拡大を図りつつ適切に管理運営されている。				

- ※ ・実績（管理指標に対するコメント）欄については、指定管理者が記入する。
- ・総合評価欄については、所管課が記入する。
- ・自己評価、所管課評価欄について

評価	評価基準
A	事業計画を上回る成果があったもの
B	事業計画どおりの成果があったもの
C	事業計画を下回っており、改善努力が必要なもの